

令和3年度 久勝かもめこども園 自己点検・自己評価について

令和4年3月

評価の基準 A・・・よく達成できている B・・・達成できているが課題もある C・・・改善が必要

◎ 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策
教育・保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	B	・指導計画を立案する時に、前回の反省点を踏まえて立案しているクラスが少ないように思う。次に繋げることができるような立案になるようにしていきたい。 ・各クラスの情報共有をしたり、相談をしたりという職員間でのコミュニケーションの時間を多く持つことが大切だと考える。忙しくする毎日の中で少しでもその時間を設けるようにしていきたい。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	B	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	B	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	B	
教育・保育内容について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	B	・もっと子どもたちが楽しめるような環境構成が増やせるようにしていきたい。子どもの成長や関心に合わせて子どもたちが、夢中になって遊びこめる環境づくりの大切さを思う。 ・図書館の本をたくさん借りて、子どもたちの興味をひく楽しい絵本や新刊の絵本を活用できていた。 ・段ボールや牛乳パックの素材をうまく活用し、保育に役立てていた。 ・登降園時には、担任が対応できないことが多く、不満に思う保護者が見受けられた。次年度の課題としてフリーが送り出し時にクラスに入り、担任と少しでも話ができるようにし、信頼関係を築くことの大切さを職員間で話合った。 ・毎月の給食会において、改善してほしい点を伝えるようにした。
	(2) 認定こども園教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。	B	
	(3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	B	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	B	
	(5) 登園・降園時にこやかに対応しているか。	A	
	(6) 連絡帳・連絡ノート、個人懇談の活用が十分できているか。	B	
	(7) 給食、おやつなどのメニューに偏りはないか。	B	
	(8) 食育計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	
	(9) 乳幼児の健康管理を適切に行っているか。	A	
	(10) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	B	
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	B	年間の中で春が一番怪我の多い季節、年度初めには、安全の日と題し、園庭での遊び方について改めて子どもたちに伝える日をつくった。今年度病院受診が多かったように思う。子どもたちを安全に返すこと、職員間でも一層気を引き締めて保育するよう話し合った。
	(2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B	
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	B	
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか	A	年齢に応じて作成されている。
	(2) 教育保育週数を確保しているか。	A	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	A	・コロナ禍という厳しい状況でも、中止せずに実行できていたことを保護者の方からも喜びの声はたくさん聞こえてきた。体制を考慮しながら縮小や例年通りでなくとも実行できるようにしていきたいと思う。 ・子どもたちが、経験を通して成長できるよう、大きな舞台を準備する。個々の力を大切にしながら前年度よりステップアップできるよう毎日の保育での積み重ねを大事にしていきたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	B	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	B	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	B	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	B	

◎教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	B	・職員会を適宜開き、クラスの担任が集まったり、また、副担が集まったりするよういろんな職員が集まれるようにした。 ・前年度に比べると、職員会を開いた回数が減ったように思う。やはり、集まることの大切さを思うので、決まった曜日に職員会を開くようにしたい。 ・園内係の内容が、わかりにくいのか活動していない職員がいたので、自覚と責任をもち、自分の任されている係がしっかりできるようにしていきたい。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	B		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	B		
		(4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	B		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	B		
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	B		
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	B		・戸外遊びを各クラスに呼びかけ、小さいクラスも戸外での遊びが増えたように思う。その中で、小さい子を思いやる関わりがあり、優しく手をつなく姿が見られた。 ・年長児の姿を見て、4歳児が成長していくことを保育者が子どもたちにも伝えることで自信をつけたり励みになったりすることを大切にしていきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	B		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B		
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	B		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B		
(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		B			
研究・研修	園内研修・研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	・園内研修を少人数で組み、発言しやすい環境を作った。毎月、リーダーとなる職員が計画するようにした。その話し合いの内容を他の職員にも伝達する術をつくるようにしたらよりよかったと反省する。	
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	B		
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	B		
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	B		
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	A		・積極的に研修に参加し、レポートにまとめて自己研鑽に励む。全職員が目を通し、学べるよう所定の位置へ置いている。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	B		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	A	・個人情報適切な取り扱いを徹底している。 ・公文書收受、発送等は適切に処理している。		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	A			
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A	・安全点検を定期的に行い、遊具・用具の修理・整理・保管をする。避難訓練の間に、不審者訓練も取り入れるようにした。職員間での合言葉を決め、静かに誘導することが火災や地震との違いとなる。 ・掲示板をほぼ毎日活用し、保護者への伝達に役立った。		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	B			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切、且つ、効果的に活用しているか。	A			
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	適正に処理している。		

◎地域の中の就学前教育施設に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
開かれた認定こども園づくり	施設間交流・連携	(1) 小学校等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。	B	・前年度同様、コロナ感染防止のため、予定通りとはいかなかったが、就学前の交流では、小学校に行くというだけで子どもたちも保護者も喜んでいて。就学前保育では、主に聞く姿勢をしっかりと身につけ、小学校に繋げていけるようにしていきたい。
		(2) 小学校等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	B	
		(3) 保育教諭同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	B	
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。	C	
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	B	
	家庭・地域との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	地域の方との活動に年間を通して参加している。季節によって作物の苗植え・生育・収穫を体験することができるので収穫を通して食育活動に繋げていきたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	B	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭やリズム室、子育て支援室等を開放しているか。	B	・子育て支援を立ち上げ、支援室を利用し、外部講師によるベビーマッサージを案内すると、乳児を連れて母親が、参加してくれるようになった。日中、家で子どもと二人の母親たちは、その場で、いろいろな悩みを聞いてもらったりオイルでのベビーマッサージで子どもとの時間を楽しんでいた。開放保育も案内しているが、まだ利用はない。
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。	B	
		(3) 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。	B	
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	C	
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	B	
	情報の発信	(1) 園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	C	・園便りを毎月発行している。保護者が、楽しみに読めるように子どもの姿や園の様子なども取り入れていきたい。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	
	外部評価	(1) 第三者評価や学校評議会等を導入し、園運営に反映しているか。	B	・お年寄りとの交流や昔遊びなど、コロナ禍ではあったが、感染対策を十分に行い、地域との交流を実行できた。
		(2) 地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。	B	